

遠藤ひろし

地域振興と県政発展



県会議員 遠藤浩の信条は、「地域の振興は、県政発展の基礎。」直面する課題解決に対して真摯に取り組んでいます。歴史に学び、先人を敬う政治は、新たな課題に対しても柔軟な対応をいたします。

いあいそ

市川三郷町にお住いの皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、中部横断道 増穂・六郷インターチェンジ間が完成し新しい時代への一歩が刻まれました。また、県立高校の新設校建設に伴う町の施設整備も推進体制が構築され、しばらくは代替施設での対応や工事による支障など想定されますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

地域の振興は県政発展の基礎。「地域振興と県政発展」が達成できますよう取り組んで参りますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



●六郷インター開通記念ツーカー開通ウキウキまったり平成29年3月六郷インター出口付近

六郷インター

開業と活性化



●「ツーカイ開通ウキウキまつり」開会式

●六郷インター開通記念「ツーカイ開通ウキウキまつり」(宮狩りトンネル出口落居付近)

2月定例県議会

注目の事業

中部横断道整備による効果から工業用地は不足しています。

- 市町村が行う工業団地整備などを支援
- 商工業振興資金等の拡大
- 農業生産工程管理推進による販路拡大を図ります。(やまなしGAP)
- 農産物の生産の効率化、販路拡大などによる産地強化
- 生産技術向上と生活支援による就業定着支援の推進

「日本一健やかに子どもを育てる山梨」の充実を強化します。

- 病児・病後児保育施設の広域利用の推進
- 子どもの心のケアに係る総合拠点の整備
- 個性ある地場産業のブランド化、活性化を支えます。
- ブランド形成・販路開拓事業を支援
- 地域連携による観光産業の活性化を進めます。(日本版DMO)
- 峡南歴史文化ツーリズム構想推進事業
- 本県産業の持続的な発展を図るため産業人材育成に努めます。
- 「買援隊」の支援など商店や商店街の取組みを支援します。
- 学力調査結果を早期に活用した学力向上を推進します。
- 峡南地域に魅力と活力ある新設高校づくりを推進します。

●平成28年12月 定例会 一般質問のようす。(平成28年12月31日 県議会議事堂)

2月定例県議会は、平成29年度の予算を審議する重要な議会で2月17日から3月23日までの35日間の会期です。厳しい財政状況ではありますが、移住・定住や転出抑制の取り組みを初め産業振興、人材育成、子育て支援など積極的な推進と在宅医療・介護の推進体制構築や疾病対策などに多くの議論がありました。

また、リニア中央新幹線開業や中部横断道開通を見据えた事業、平成30年開催予定の冬季国体や、平成32年の東京オリンピック・パラリンピック関連の事業にも質疑が集まりました。

六郷インターチェンジ開業は、地域にとっても山梨県にとっても大きな一歩だと思えます。

全線開通は、2年ほど遅れる見通しですが、開通後は、無料区間の終点で、身延線との結節点として様々な可能性を秘めています。

昨年夏、工場が撤退しましたが、県内の工業用地は不足していて、適正規模の工業団地を整備する必要があります。県は明年度より、市町村が行う工業団地整備のための基礎調査や基盤整備に対する支援を始めます。

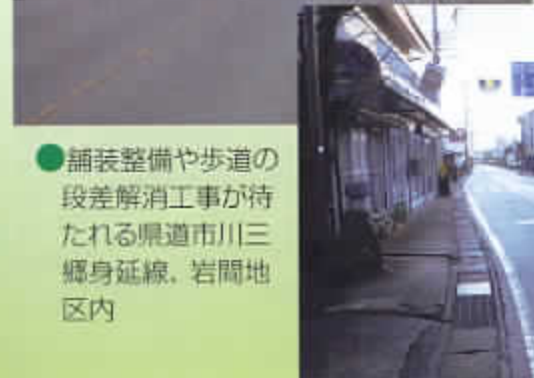
中部横断道開通を見すえ、積極的に情報を集め、地域の優位性を示す取り組みが重要です。



●JR甲斐岩間駅東の活用に期待が寄せられます。



●六郷インター周辺の産業活性化に期待が寄せられます。



●舗装整備や歩道の段差解消工事が待たれる県道市川三郷身延線、岩間地区内

六郷インターチェンジ開業後は、以南富沢インターチェンジまでの区間で工事が継続するものの、工事車両は減少すると思われれます。

地域の皆様には、ご迷惑をお掛けしましたが、順次、県道の舗装整備や歩道の段差解消などの工事が行われる予定です。引き続き、ご迷惑をお掛けしますがご理解賜りますようお願いいたします。

岩間地区内県道整備

平成28年度は、教育厚生委員長として取り組んで参りました。

この間、峡南地域高校再編整備の建設地決定、地域医療構想策定、社会福祉法人制度改革、国民健康保険制度改革など大きな事業に関わらせて頂きました。課題や問題点を示し向かうべき方向性を導き出せた事と確信しています。



教育厚生委員会



平成38年までにJ
R鉄橋下流を整備
し、その後、黒岩ダ
ム堰堤まで整備す
る計画です。



●青洲橋付近の根継ぎ工法工事のようす。(平成27年2月)



●平成23年9月の台風15号接近時、青洲橋付近のようす。



●鳴沢川、印沢地区付近。



●鳴沢川、宮東地区付近。



●鳴沢川、平塩地区付近。



●宮原川、上流未整備箇所。

鳴沢川は、碑林公園付近から市川小学校南側、市川三郷病院南側を経由し笛吹川に合流します。また、宮沢川上流の懸念箇所共に、住居に接し重要性を認識しています。状況を把握し適切な対応がとれるよう取り組んでいきます。

芦川護岸改修

芦川の護岸改修は、「根継ぎ工法」という方法で改修されています。護岸を下に継ぎ足し、最後に土砂を取り除けば、結果、堤防の高が増し流下能力が大きくなる工法です。

明年度は、芦川橋の架け替えに向け取り組んでいきます。関係者の皆様には丁寧にご説明されるよう注視します。

鳴沢川・宮原川

施設の老朽化に対応し、県営富士見団地を建て替えています。バリアフリーな多様なニーズに対応して、平成30年度末の完成を目指します。また、大塚地内の三珠団地も1棟を全面改修し入居が始まっています。工夫した改修によりエレベーターが設置され、バリアフリー化も充実して乳幼児のいる家庭から高齢世帯まで多様なニーズに対応しています。

県営団地建て替え・改修



●県営富士見団地、完成予想図。



●建設中の県営富士見団地を政務調査。(平成29年2月 富士見団地工事現場)



●改修工事が終了した県営三珠団地1号棟



●室内も明るく、エレベーター設置やバリアフリー化も充実した1号棟



指摘事項への対応

多くの皆様からご指摘、ご意見賜りました事で改善した事例をご報告申し上げます。ご指摘に感謝いたします。



●照度改善した割石トンネル。



●交通案内表示板が設置された甲西バイパス今泉付近。



●定期的に巡回監視されている中央市大和田地区。

高齢ドライバー

本年3月から75歳以上のドライバーに対する認知症対策が強化されます。しかしながら、公共交通機関関が十分に発達していない本県にとって高齢者の足確保の観点から適切な対応が求められています。

県警察では、高齢運転者支援係を設置し安全運転指導を行います。また、県は明年度、イベントなどを通じて、運転適性が容易にわかる「運転適性診断」を実施します。このような取り組みにより、高齢者の足確保と安全が図られるよう取り組みます。



● 運転適正が容易にわかる、運転適正診断システム。

75歳以上の運転者に対する認知症対策を促す

認知症の発症は、高齢者の交通事故の大きな原因の一つです。認知症の発症は、記憶力、判断力、集中力、注意力などが低下し、運転に支障を及ぼす可能性があります。認知症の発症を予防するためには、早期発見・早期治療が重要です。



● 本年3月から強化される高齢者運転者に対応した改正道路交通法のポイント

認知症も早期発見、早期治療が重要だと言われています。認知症の予防や検診は、現在、不十分であるため、今後取り組みべき課題です。県は、地域包括ケアシステム構築に向け認知症初期集中支援チームの共同設置などに取り組み、医療機関においても、認知症外来設置に向けて取り組んでいます。

軽度認知症治療

早期治療の重要性



大規模火災を踏まえて

昨年末、糸魚川市で発生した大規模火災を踏まえて、消防庁は火災予防の呼びかけ、水利の確認、延焼拡大懸念地域の巡視などを呼びかけました。

本県は、全国と比較して火災の発生率が約1.5倍と高く、火災に対する警戒の強化を図っています。



● 昨年末の糸魚川市大規模火災。(平成28年12月糸魚川市)

ハガキサイズに切り取り、切手を貼らずに投函してください。



遠藤浩事務所 行

西八代郡市川三郷町市川大門
一五六八一

郵便はがき
409-3890

ご意見や
ご相談を
お寄せください。

お手数ですがハガキサイズに切り取り、切手を貼らずに投函してください。

遠藤浩事務所
市川三郷町市川大門1568-1
☎/FAX 055-272-0330